

ひかりのこ

1月園便り

認定こども園
聖ミエル幼稚園
2021年1月18日

月主題：じっくりと

皆様明けましておめでとうございます。冬休み、いかがお過ごしでしたか。今年は外出もなかなかできず、お家で過ごされたご家族が多かったのではないのでしょうか。

私もいつもなら、89歳の両親の家に親戚一同が集まり、百人一首などをして楽しいお正月を過ごすのですが、今年は高齢の両親を気遣い、それぞれの家族が玄関先に顔を出さず程度にしました。両親にとっては寂しかったらう、と思います。

幼稚園では、お仕事をされているご家庭を中心に、預かり保育を実施しましたが、どのご家庭も感染予防にご協力いただき、安全に過ごすことができました。

さあ、いよいよ3学期です。子どもたちが元気に「おはよう」とやってくる幼稚園が始まります。担任の先生たちの準備は万端。どの先生も、かわいい子どもたちに会いたくて、ワクワクして準備しています。

3学期も子どもたちの行事を削ることなく、幼稚園でたくさんの体験をしてもらいたいと願っています。雪も降ってそり遊びを楽しみにしていることでしょう。書初めや、豆まきや、年中少さんのクッキングも楽しみですね。そして年長さんは、いよいよ幼稚園生活最後の学期です。卒園に向けて、様々な活動が予定されています。本当に素敵に育った年長さん。どうぞ子どもたち、保護者の皆さんが横と縦のつながりを大切にしてこの3学期を楽しく、丁寧に過ごしてくださることを願っています。進学にご不安なことがございましたら、どうぞお話しくださいね。

子どもたちが安全に豊かに3学期を過ごせるよう、私たち職員は努力して参ります。保護者の皆様も、引き続きご協力を宜しく願いいたします。

園長 渡部 良子

キリスト教保育

「踊り場の時代」

新しい一年が始まりました。昨年は新型コロナウイルスのため不安と緊張を強いられ、思い通りにならない日々が続きました。今年になっても、収束のめどは立たず、この状態はまだ続くでしょう。しかし、こんな時こそ、何か明るい見通しが欲しいものです。

先日、新聞か雑誌の記事が忘れてしまったのですが、コロナの時代は、ある意味で「踊り場の時代」だという言葉を目にしました。踊り場とは、階段の途中にあって、向きを変えたり、ひと休みしたりするスペースのことです。デパートなどではここに椅子があったり、トイレがある場合もあります。私たちの社会は、一気に階段を駆け上ることばかり考えていたのではないか。それは経済成長だったり、便利さだったり、収入の増加であったりします。しかし、多くの人がそれを求める背後で、そこから取り残される人々、助けを求める声が届かない人がいることに、私たちは階段を昇ることに没頭するあまり、見えない、聞こえないふりをしてきたのではないか、ということです。そして、自分自身もいつ取り残されるかわからないのが現実なのです。

そんな時、踊り場で一息ついて、もう一度、階段の昇り方を考える、あるいはしばらくそこにいる、もっといえば、思い切って階段を降りてみる。キリスト教的に言えば、私たちはいつでもやり直すチャンスを神様から与えられているのです。今年はそんな年になればいいなと思います。

チャプレン 司祭 下澤 昌